

1. 縦断作図条件 (赤枠と青枠のセルに数値・文字入力または、リストから選択する)

[図面データ] シート

用紙サイズ	A1	841 mm	594 mm	基本Parameter	PenNo	線種	色	色	左から(R,G,B)
書込みレイヤ	S-BGD			図面外枠	5	1.実線	05.黄色Y	255	255 0
責任主体	1.測量_S	S		タイトルBOX外枠	5	1.実線	05.黄色Y	255	255 0
項目帯部の寸法				" 縦横線	1	1.実線	01.黒-BK	0	0 0
作図寸法=Y1	20 mm	項目文字のサイズ		" 文字	1		01.黒-BK	0	0 0
" =Y2	10 mm	文字高	7	帯部 項目枠線	1	1.実線	01.黒-BK	0	0 0
" =W1	50 mm	" 幅	7	" 文字	1		01.黒-BK	0	0 0
" =W2	2 mm	" 間隔	7	帯接続・現況線	1	1.実線	01.黒-BK	0	0 0
" =H1	23 mm			現況線	1	1.実線	01.黒-BK	0	0 0
" =H2	18 mm			中心線、DL線	1	6.一点鎖線(線=短,間=	05.黄色Y	255	255 0
" =W3	20 mm			測点名 文字	1		01.黒-BK	0	0 0
タイトル部の寸法		タイトル文字のサイズ		Gh Fh 文字	1		01.黒-BK	0	0 0
作図寸法=A	20 mm	文字高	8	DL=値 文字	1		05.黄色Y	255	255 0
" =B	80 mm	" 幅	8						
" =C	30 mm	" 間隔	8						
" =D	20 mm	帯部文字のサイズ							
" =E	30 mm	文字高	9						
" =F	10 mm	" 幅	9						
" =Y3	20 mm	" 間隔	9						
項目文字 (図面上から)	高さlor2	データ有無							
TEXT_1	縦断勾配線	2	H.データ無し						
TEXT_2	計画高	2	G.計画高						
TEXT_3	地盤高	2	F.地盤高						
TEXT_4	切土高	2	E.切土高						
TEXT_5	盛土高	2	D.盛土高						
TEXT_6	追加距離	2	C.追加距離						
TEXT_7	測点間距離	2	B.単距離						
TEXT_8	測点番号	2	A.測点						
TEXT_9	平面線形曲率図	1	H.データ無し						
TEXT_10	片勾配すりつけ図	1	H.データ無し						
TEXT_11		1	H.データ無し						
TEXT_12		1	H.データ無し						
項目数NUM_text		10個							
タイトル文字									
TTL_1	工事名								
TTL_2	図面名								
TTL_3	作成年月日								
TTL_4	縮尺								
TTL_5	会社名								
TTL_6	事業者名								
TTL_7	図面番号								

[縦断図]

[色見本]

01.黒-BK
02.赤-R
03.緑-G
04.青-B
05.黄色Y
06.マゼンタM
07.シアンC
08.白
09.牡丹
10.茶
11.橙
12.薄緑
13.明青
14.青紫
15.明灰
16.暗灰

[タイトル部]

↑↑↑↑↑↑↑↑共通条件・縦断図条件↑↑↑↑↑↑↑↑ ↓↓↓↓↓↓横断図条件↓↓↓↓↓↓↓

- | | |
|---|--|
| <p>①用紙サイズを選択する</p> <p>②<責任主体>を選択する</p> <p>③[帯部]略図の作図寸法を入力する</p> <p>④[タイトル部]略図の作図寸法を入力する</p> <p>⑤[帯部項目文字]を入力する</p> <p>⑥[タイトル文字]を入力する</p> <p>⑦[帯部項目文字]のサイズを入力する</p> <p>⑧[タイトル文字]のサイズを入力する</p> <p>⑨[帯部データ文字]のサイズを入力する</p> <p>⑩[帯部]の高さ「1」又は「2」を入力する
(作図寸法[H1]=1、作図寸法[H2]=2)</p> | <p>⑪各帯項目に該当するデータ項目を選択する</p> <p>⑫「フィーチャ」を描くペン番号を選択する</p> <p>⑬「フィーチャ」を描く「線種」を選択する</p> <p>⑭「フィーチャ」を描く「色」を選択する
(色見本を参考にする)</p> |
|---|--|

2. 横断作図条件 (赤枠のセルに数値・文字入力または、リストから選択する)

[図面データ] シート

↑↑↑↑↑↑共通条件・縦断図条件↑↑↑↑↑↑ ↓↓↓↓↓↓横断図条件↓↓↓↓↓↓

作図寸法 = Y 1	20 mm	測点名文字のサイズ	
" = Y 2	10 mm	文字高	③ 5.0 mm
作図寸法 = A	50 mm	" 幅	③ 5.0 mm
" = B	90 mm	" 間隔	③ 0.0 mm
" = C	110 mm	Gh Fh 文字のサイズ	
" = D	① 0 mm	文字高	④ 3.5 mm
" = E	5.0 mm	" 幅	④ 3.5 mm
" = Y 3	10 mm	" 間隔	④ 0.0 mm
" = W 4	20 mm	DL = 値 文字のサイズ	
センターラインの長さ	40 mm	文字高	⑤ 3.5 mm
測点アンダーライン長	30 mm	" 幅	⑤ 3.5 mm
作図寸法 = WX	385.50 mm	" 間隔	⑤ 0.0 mm
		GH, FHの左右シフト量	
		(+) = R (-) = L	⑥ 3.0 mm
横断配置行数 =	3 行		
" 列数 =	② 2 列		
最右下配置?	しない		

外枠、タイトルボックスの作図条件は[縦断図]と同じです

- ① [横断図]の作図寸法を入力する
- ② 一枚の図面に配置する行列数を入力する
(右下タイトルBOX上部の配置の有無)
- ③ 測点名の文字サイズを入力する
- ④ GH、FHの文字サイズを入力する
- ⑤ DL = 値の文字サイズを入力する
- ⑥ GH、FHの中心線からのシフト量
右シフト=(+) 左シフト=(-)

[縦断・横断データ] シート

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	測点	単距離	追加距離	盛土高	切土高	地盤高	計画高	杭頭高
2		[縦断データ] シート						
3								
4								
5								

[縦断データ] シート入力データ

[入力例]

測点 : NO. 12+21.123 ← (省略可)
 単距離 : 21.123 ← (省略可)
 追加距離 : 261.123 ← (省略不可)
 杭頭高を入力した場合、SIMAファイルにのみ出力します

	A	B	C	D	E
1	データ区分	断面名	追加距離	地盤高	杭頭高
2		[横断データ] シート			
3					
4	I01	NO.12+21.123	261.123	450.255	450.264
5	I02	左	-35.652	450.698	

[横断データ] シート入力データ

[入力例]

データ区分 : [I01] 又は [I02] を入力
 断面名 : [I02] の時は省略可
 追加距離 : [I01] の時は省略可
 地盤高 : [I01]、[I02] 共に省略不可
 杭頭高 : [I01] のみに入力、省略可
 [I02] には無し、入力しても無視

断面左側は、[-]
 断面右側は、[+]

※ [縦断データ] は、必要な項目に入力します
 例えば、「単距離」と「追加距離」では個別にデータが必要です

「追加距離」は省略することは出来ません

3. 縦断図の作図（赤枠のセルに数値・文字入力する）

（HO_CADpaoを「ボタンクリック」前に起動して、作図用紙を開いておきます）

[縦断データ] シート

距離と高さの入力単位は必ず「m」とする

横縮尺=	500	縦断図作図
縦縮尺= ①	100	
DL=		
DL線間隔		

④ ボタンクリック

SIMA出力	現場名	現場名を入力
	路線番号	00001
	路線名	R0001

レイヤ設定	外枠	-TTL	-TTL
	タイトル枠	-TTL	-FRAM
	区切線、罫線	-TTL	-LINE
	タイトル文字列	-TTL	-TXT
	縦断図の帯	-TTL	-BAND
	現況地物	-BGD	-BGD

③で入力したレイヤ名

縦断図

責任主体 測量_S	図面の外枠線 作図	S-TTL
横縮尺=1/ 500	「タイトルBOX」外枠線 作図	S-TTL-FRAM
縦縮尺=1/ 100	「タイトルBOX」区切線 作図	S-TTL-LINE
DL= 0 m	「タイトルBOX」文字 作図	S-TTL-TXT
測点数= 0	「帯部」枠線・項目文字 作図	S-TTL-BAND
測点数= 0	「帯部」線・文字 作図	S-TTL-BAND
帯接続線L= 2 mm	「データ現況線」作図	S-BGD

⑤

⑥ 縦断SIMA出力 ⑦ 終了

- ①[縦断図]の縦横縮尺、最下DL値（帯部の上）、DL目盛間隔を入力する
- ②縦断SIMAファイルを出力する際の現場名、路線番号、路線名を入力する
- ③CAD製図基準に対応するレイヤ名を入力する
HO_CADpaoで現在開いている図面にレイヤ名が設定されていない場合は、ここに入力されているレイヤが作成される
- ④[縦断図作図] ボタンをクリックすると、[縦断図] フォームが開きます

- ⑤[縦断図] フォーム
各ボタンをクリックして作図を進めます
書込レイヤについてのメッセージに従って順次、作図します
各ボタン操作毎にHO_CADpao上での元に戻す（Undo）が有効になります
- ⑥入力済み縦断データを[SIMA共通フォーマット]でファイルに出力します
- ⑦縦断図作成を終了します

[横断データ] シート

距離と高さの入力単位は必ず「m」とする

横断配置 行(R)=	3 行	①	横縮尺=	200	横断図作図
" 列(C)=	2 列		縦縮尺=	200	
" 右下配置=	しない				
" 測点数	0 測点				

④ ボタンクリック

SIMA出力	現場名	SIMAテスト現場
	路線番号	00001
	路線名	R0001

レイヤ設定	外枠	-TTL	-TTL
	タイトル凡例枠	-TTL	-FRAM
	区切線、罫線	-TTL	-LINE
	タイトル文字列	-TTL	-TXT
	現況地物、地盤線	-BGD	-BGD
	基準線中心、DL、ML	-BMK	-BMK
旗上、測点GH=FH=	-BMK	-HTXT	

③で入力したレイヤ名

横断図

責任主体 測量_S	図面の外枠線 作図	S-TTL
横縮尺=1/ 200	「タイトルBOX」外枠線 作図	S-TTL-FRAM
縦縮尺=1/ 200	「タイトルBOX」区切線 作図	S-TTL-LINE
測点数= 0	「タイトルBOX」文字 作図	S-TTL-TXT
行数= 3	「横断図」作図	S-BGD
列数= 2	基準線、中心線、DL ---->	S-BMK
右下配置	測点名、GH=、FH= ---->	S-BMK-HTXT
図面枚数		

⑤

⑥ 横断SIMA出力 ⑦ 終了

- ①[横断図]の縦横縮尺を入力する
- ②縦断SIMAファイルを出力する際の現場名、路線番号、路線名を入力する
- ③CAD製図基準に対応するレイヤ名を入力する
HO_CADpaoで現在開いている図面にレイヤ名が設定されていない場合は、ここに入力されているレイヤが作成される
- ④[横断図作図] ボタンをクリックすると、[横断図] フォームが開きます

- ⑤[横断図] フォーム
各ボタンをクリックして作図を進めます
書込レイヤについてのメッセージに従って順次、作図します
各ボタン操作毎にHO_CADpao上での元に戻す（Undo）が有効になります
また、横断図一枚毎にその都度保存するようにメッセージが表示されます
一枚保存→（Undo）→次の断面作図→一枚保存→（Undo）→次の断面作図…繰り返し
- ⑥入力済み横断データを[SIMA共通フォーマット]でファイルに出力します
- ⑦横断図作成を終了します

